



校長室から

甘利 尚之

令和4年7月11日(月) No.16

桑の実とり・ジャムづくり (6月17日) ～地域の皆さんに教えてもらい～



6月17日(金)本校1年生が、「桑の実ジャム」を作るために、学区にある「ゆうすげの里」へ行ってきました。

「ゆうすげの里」とは、地元の方たちが、アサギマダラが飛来するようにと、食性のフジバカマを植えて整備をしてくださっている場所です。

1年生は、本校を支えていただいている「塩尻小地域応援団」の一人である、清水卓爾先生に教えてもらい、保護者有志にも加わってもらいながら、「桑の実とり」をしました。塩尻は、昔から養蚕の盛んな場所です、そこここに桑の木があり、校地内にも数本の桑の木があります。そこに、5月頃からなっている「桑の実」。それが食べられることを知り、上級生に交じって桑の実をとっていたことから発展した活動です。



「ゆうすげの里にある桑の木は、学校にある桑の木と違って、桑の実をとるために、品種改良した桑の木である」ということを、清水先生から教えていただき、いつも採っていた桑の実よりも倍くらいあるものを夢中で採りました。

早速、その日のうちに、学校の先生方にも協力してもらい、桑の実ジャムを作って、試食しました。「甘酸っぱさ」が口の中いっぱいに広がりました。

食べることを通して地域を知ることのできる、特別な日となりました。

